

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 30 日

千葉市長 殿



提出者
住 所 千葉市稲毛区山王町94-46
氏 名 株式会社 大成
代表取締役 古野凌汰
電話番号 043-403-9200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 大成
事業場の所在地	千葉市稲毛区山王町94-47
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業-職別工事業（設備工事業を除く）-その他の職別工事業
② 事業の規模	前年度の請負工事高 5.57 億円
③従業員数	5 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	現場→→・廃プラスチック類→→運搬→→委託処分場 ・木くず ①再生利用 ・繊維くず ②安定型最終処分 ・ガラコン陶器 ・がれき類 ・コンクリートがら ・建設混合廃棄物

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代 表 取 締 役

処理計画統括責任者



工 事 部



作業所・現場代理人

処理計画作成



運 搬

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	別紙のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） 中間処理業者に委託して処分を行っている。 廃棄物を再利用できるよう、種類ごとに分別作業を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	別紙のとおり t	t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、工事で発生する廃棄物を、再利用できるよう、 種類ごと分別作業を行っている。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 再生可能品目については各品目ごとに分類を行い、 混合廃棄物としての軽減に努めている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 細分化した分別作業を継続実施する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） これまでに自社で行った事はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	—
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） これまでに自社で行った事はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) これまでに自社で行った事はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物管理票（マニフェスト）により、最終処分までの工程の確認を行った。 産業廃棄物の処理は、委託契約を終結した処分業者のみに委託することを徹底している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 処理の工程の確認は、廃棄物管理票（マニフェスト）により行う。 産業廃棄物の処分を委託する場合には、事前に書面により 委託基本契約を集結する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
①現状	【前年度（ 6 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートガラ	建設混合廃棄物
	排 出 量	17.945 t	452.75 t	0.5 t	63.91 t	144.874 t	578.9 t	44.23 t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートガラ	建設混合廃棄物
	排 出 量	17 t	450 t	0.5 t	63 t	144 t	578 t	44 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
①現状	【前年度（ 6 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—	—	—	—
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—	—	—	—
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
①現状	【前年度（ 6 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—	—	—	—
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—	—	—	—
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 種類	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—	—	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—	—	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートガラ	建設混合廃棄物
	全処理委託量	17.945 t	452.75 t	0.5 t	63.91 t	144.874 t	578.9 t	44.23 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	6.66 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	138.214 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】							
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラコン陶器	がれき類	コンクリートガラ	建設混合廃棄物
	全処理委託量	17 t	450 t	0.5 t	63 t	144 t	578 t	44 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	7 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	17 t	450 t	0.5 t	63 t	137 t	578 t	44 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7 年 6 月 30 日

千葉市長 殿



提出者 株式会社 大成
住所 千葉市稲毛区山王町94-46
氏名 代表取締役 古野凌汰
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-304-9200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 大成
事業場の所在地	千葉市稲毛区山王町94-47
事業の種類	建設業一職別工事業（設備工事業を除く）一その他の職別工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

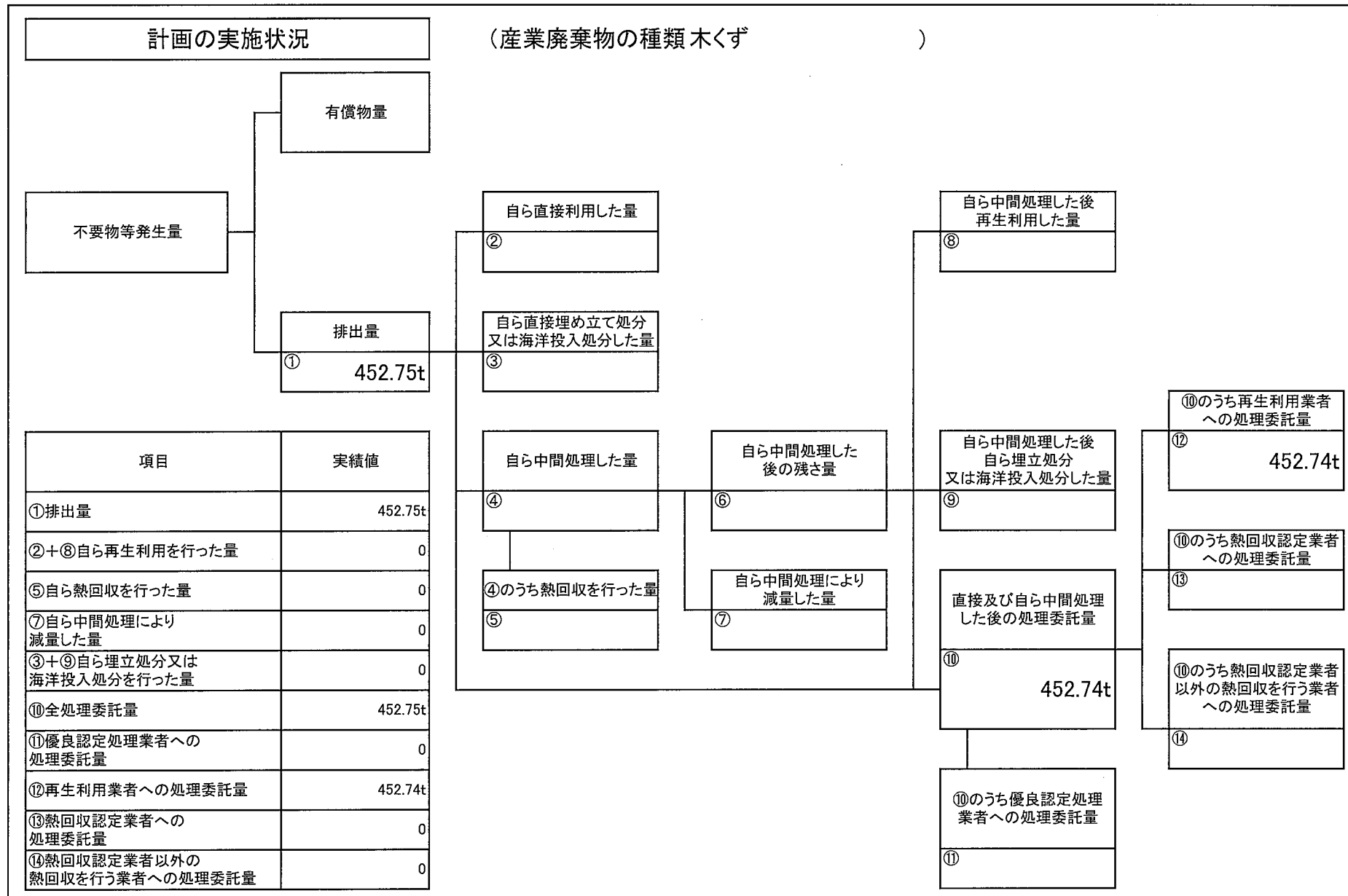
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2.810 t	全処理委託量	2.810 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2.810 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

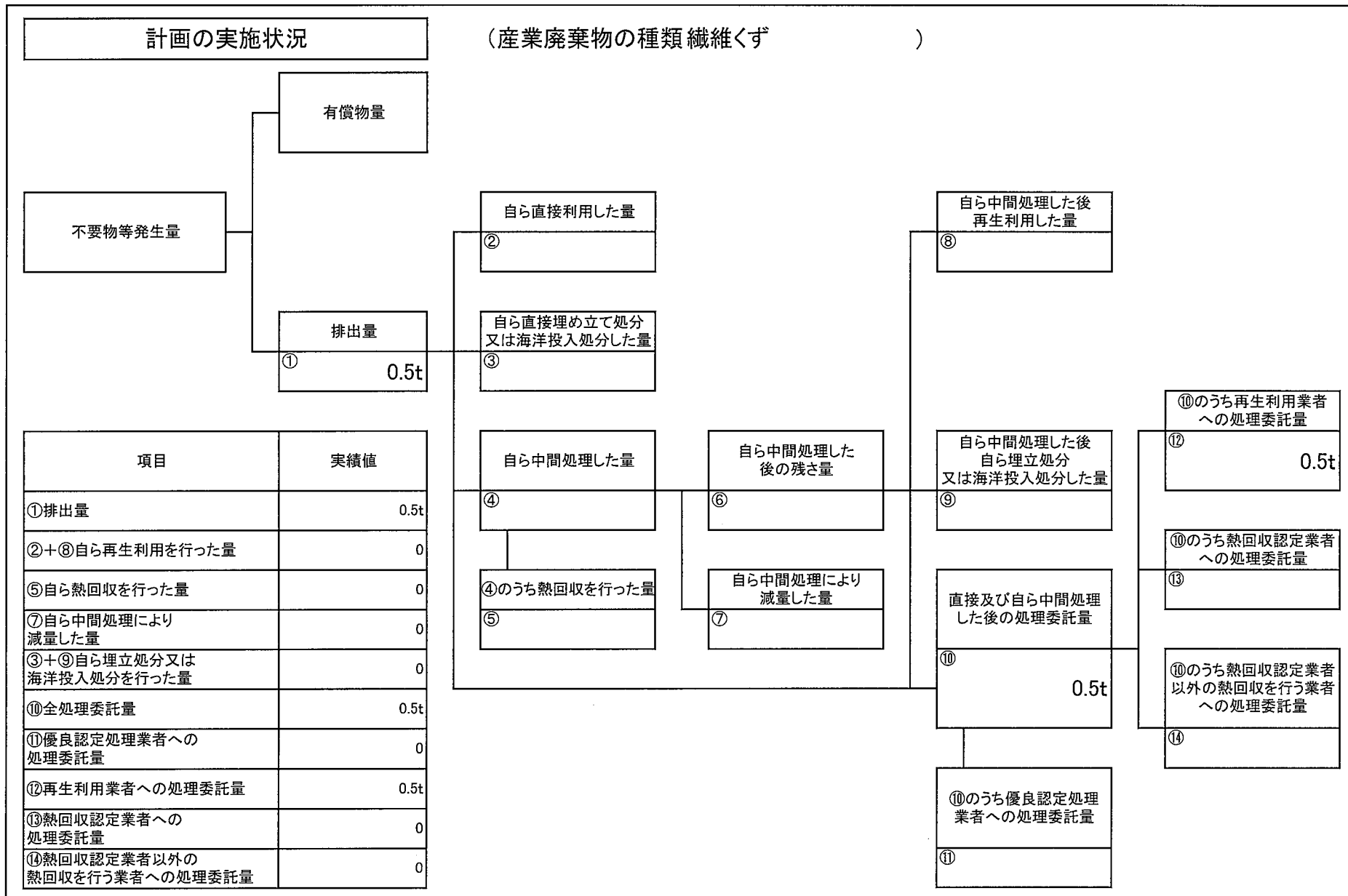
(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 廃プラスチック類)			
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量 ②		自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧	
	排出量 ① 17.945t	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量 ③			
項目	実績値	自ら中間処理した量 ④	自ら中間処理した 後の残さ量 ⑥	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量 ⑨	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量 ⑫ 17.945t
	①排出量				
	②+⑧自ら再生利用を行った量				⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量 ⑬
	⑤自ら熱回収を行った量	④のうち熱回収を行った量 ⑤	自ら中間処理により 減量した量 ⑦	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量 ⑩ 17.945t	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑭
	⑦自ら中間処理により 減量した量				
	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量				
	⑩全処理委託量				
	⑪優良認定処理業者への 処理委託量				
	⑫再生利用業者への処理委託量				
	⑬熱回収認定業者への 処理委託量				
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量					

(第3面)



(第4面)



(第5面)

